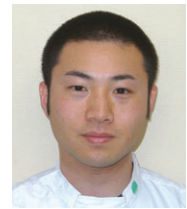


# くすりばこ

## 113. 抗菌薬を適当に飲んでると、 そのうち効かなくなっちゃいます！

薬剤部  
主任薬剤師  
名賀 芳晃



家に残ってる薬、医師の指示がないのに飲んだりしていませんか？  
「前も同じ症状だったから飲んでみた。」などご自身の判断で薬を飲んだ覚え、ありませんか？「1回くらいならいいでしょ？」とお思いでしょうけど、止めましょう。

副作用が出た場合、医薬品副作用被害救済制度<sup>\*</sup>の対象にならない可能性があります。特にご家族が処方された残薬を服用した場合は対象外といわれています。ご自身を守るためにも、医師の指示のもと適正使用をお願い致します。

<sup>\*</sup> 医薬品副作用被害救済制度の対象になるかどうかは審査を経て判断されます。  
詳細は医薬品医療機器総合機構(PMDA)ホームページをご確認ください。

中でも抗菌薬は別の問題があります。

世界的に耐性菌が増えており、何も対策を取らなければ2050年には年間1,000万人が世界中で亡くなるといわれています。2016年、5,690万人が年間亡くなられ、そのうち虚血性心疾患が1位(800万人弱)、脳卒中が2位(600万人弱)です。年間1,000万人はこれらを超える数字です。

困ったことに、耐性菌は増えていますがそれに対抗できる新規抗菌薬の開発はあまり進んでいません。菌に対抗する武器が減ってしまっています。

そのため、2015年に世界保健機関(WHO)総会で加盟各国に薬剤耐性対策のアクションプラン(耐性菌に対する行動指針のようなイメージ)を作成するよう採択され、2016年に我が国でも薬剤耐性対策のアクションプランが策定されました。

我が国が掲げた目標の中に、抗菌薬の処方数を減らすこと、不適切な服用(使用)をやめることが明記されております。

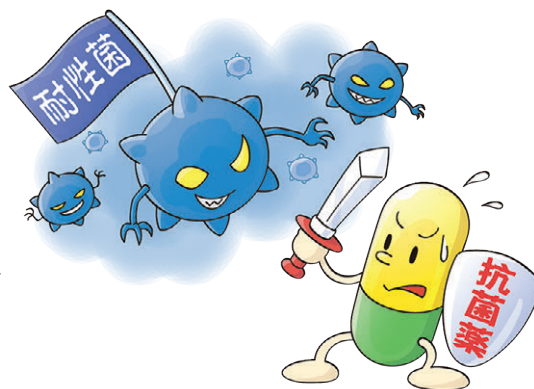
今年、2016年に策定されたアクションプランが見直され、目標に掲げていたものの成果と新たに掲げた目標などが更新されました。その中の結果の1つが下記の表です。ご自身の判断で抗菌薬を服用したことがある方が4人に1人、医師の指示とは違う飲み方(正しく飲みきっていなかった)は3人に1人もいるようです。このように不適切な服用をしたことのある国民は一定数います。

### 2020年に行われた国民の意識調査の結果

薬剤耐性という言葉聞いたことがある	40～50%
『抗菌薬・抗生物質はウイルスをやっつける』は間違い	16.4%
『抗菌薬・抗生物質は治ったら早くやめる方がよい』は間違い	28.3%
家にとってある抗菌薬・抗生物質がある	27.4%
とっておいた抗菌薬・抗生物質を自分で飲んだことがある	25.5%
抗菌薬を処方されたときに正しく飲み切っていなかった	34.6%

薬剤耐性対策アクションプラン2023-2027より

ではなぜ不適切な服用が良くないのか説明致します。  
抗菌薬は菌に対してある一定の血液中の濃度を超えなければ、効果はありません。ただその超え方は薬によって違いがあり、1日複数回服用する場合と1回で良い場合があります。また感染症の部位や菌によって服用期間が異なります。3日で良い場合もあれば、1～2週間服用しなければいけない場合もあります。このことを考えずご自身の判断で服用すると、ある一定の濃度に達することが出来ない可能性があり、感染症が長引いたりひいては重症化したりします。そしてご自身で耐性菌を生み出す結果になってしまいます。感染症は抗菌薬を1回服用すれば良くなるというものではありません。菌も必死に生きています。抗菌薬に対抗するために色々と菌自身の体の構造や仕組みを変えています。その変化によって抗菌薬が効かなくなります。



出典：政府広報オンライン  
(<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201611/2.html>)

日本中どこの医療機関でも同じでしょうが、当院でも耐性菌が検出される患者さんは一定数います。それによって、中には抗菌薬の選択に難渋する場合があります。特に抗菌薬のアレルギーがあり、使用できる薬剤が最初から限られてしまうような症例は抗菌薬の選択肢がそもそも少なく、より治療が難しくなってしまうこともあったりします。このような事態にならないためにも、できる限り耐性菌が出ない状況にしなければいけません。

医療者がどんなに耐性菌を減らす努力をしても、一定数の国民が不適切な服用をし続けてしまったら、0に近づけることは難しいと思います。そのため国民の協力がとても大切です。

新型コロナ感染症では世界中が混乱しました。これは未知の感染症であり、対応が当初わからなかったためです。亡くなられた一人一人には家族もいて悲しく辛い出来事です。ただ、この4年弱で新型コロナ感染症で亡くなられた方は、あれだけインパクトの強い事態で、恐怖を感じたにもかかわらず世界で1,000万人には達していません。先ほども述べましたが、2050年には耐性菌で亡くなられる方が年間で1,000万人といわれています。つまり、新型コロナ感染症が4年弱で1,000万人未満であった事態以上のことが起ころうとしています。

正直ピンとこないですし、緊張感なんて感じないと思います。日々感染症の患者を診ている医療者ですら、机上の空論のような感じに思っている人は少なくないと思います。ただ、実際に耐性菌は増えているのは事実だと思いますし、新規抗菌薬の発売が年に1つもないときもあります。耐性菌で年間1,000万人が亡くなるということを避けるためにも今から不適切な服用をしないでおきましょう。